

○津軽森林管理署の「採材検討会(広葉樹)」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和2年10月6日(火)に青森県弘前市相馬の関ヶ平国有林で開催された「令和2年度 採材検討会(広葉樹)」に、青森事務所から2名出席してきました。

朝ちょっとしたハプニングがあり、残念ながら途中からの参加となりましたが、コロナ感染症予防対策でマスクを着用したなか、青森県森林組合連合会や県担当者、署管内の林業事業者など約30名が参加者し開催されました。

会場となったのはスギ間伐箇所でしたが、今回の採材検討会では広葉樹の採材について検討が行われました。

事前に準備されたセンノキ、ホオノキ、ミズナラ及びオニグルミの広葉樹について、3班に分かれて検討を行い、班の代表が検討結果を発表しました。また、センノキについては採材検討した内容に基づき造材し、造材した結果などについて意見交換しました。

その後、署次長より、連続して多発している請負事業者等の災害について、災害概要の説明や類似災害防止等の注意喚起が行われました。

最後に青森事務所からは、採材検討会の講評として、スギ等針葉樹合板材の4m採材の推進や広葉樹の一般材比率の向上、労働安全について説明させていただき検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。

